



黎明

同窓会だより れいめい
山形県立鶴岡中央高等学校

第 20 号

発行
山形県立鶴岡中央高等学校
黎明同窓会
鶴岡市大宝寺字日本国410
0235 (25) 5724

印刷
（有）杉葉堂印刷
0235 (22) 5538



ご活躍をご祈念申し上げます。

最後に、本校の益々の発展と会員皆様のご健勝と

会員の皆様様、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。同窓会員の情報誌でもある会報は、中央高校設立時から発行していますので本号は第二十号となります。今回のみならず、これまでも多くの方から早く寄稿に御協力いただきまして感謝申し上げます。今年三月一日の入会式では二七五名が同窓会の仲間入りをしました。そして四月八日には二六八名の新入生が中央高校生として入学しました。例年になく、卒業式も入学式も天候に恵まれ佳き日となりました。



会長の挨拶

富樫 洋子



鶴岡中央高等学校 黎明同窓会総会のご案内



期 日: 2017年8月27日(日) 午後2時
会 場: グランドエル・サン
会 費: 懇親会参加 **4,000円**
当日年会費 **2,000円** も宜しくお祈りします
申し込み: (8月15日まで同窓会事務局へ)
ハガキ または **FAX** (0235-25-5733)
〒997-0017 鶴岡市大宝寺字日本国 410
鶴岡中央高校内同窓会事務局 宛 TEL.0235-25-5723



～ 総会当番は〔鶴西・鶴家政〕平成10年3月卒〔中央〕平成19年3月卒の皆さんです～



総会に
参加してくれた
方々です

編集後記

今年度は「黎明」第二十号発行、節目の年にあたり。①あけがた。よあけ。②比喩的に、新しい時代・文化・芸術等、物事の始まり。とあります。

改めて鶴岡中央高校同窓会報名称の意味にも思いを巡らしつつ、この会報をご高覧いただければ幸いです。今回、ご多忙の中、快くご寄稿下さいました皆様により深く感謝と御礼を申し上げます。佐竹・記



地域とつながる学校



校長 伊藤 吉樹

中央高校の特徴的な三角屋根の校舎は、実は出羽三山をモチーフにしていることを皆さんご存知でしょうか。中央高校の中に、羽黒山（四一四m）・月山（一九八四m）・湯殿山（二五〇四m）があるので、出羽三山は、昨年山形県で初めて日本遺産に登録されました。今年、鶴岡松ヶ岡開墾場を中心としたシルクの町として鶴岡が、北前船の寄港地として酒田が新たに認定され、山形県で三つのストーリーが日本遺産として認定されました。絹文化は、家政高校時代から本校と深い縁があり、ファッションショーを中心としたシルクガールズプロジェクトに今も引継がれています。それ以外にも地域とつながる中央高生の様々な活動がありました。鶴岡

産漬物や加茂水族館等とのコラボによる創作料理、高齢者元気アッププロジェクトとしての介護予防体操の出前指導、山王商店街各店のオリジナルの制作やナイトバザールへの出店、赤川花火大会での様々な協力、県商業研究発表大会優秀賞、小学校への英語出前授業等学びの延長としての充実した活動が沢山ありました。

部活動ではアーチェリー部の女子団体東北優勝の快挙を始めアーチェリー・天魄太鼓・吹奏楽・美術・少林寺拳法・剣道が全国大会に、陸上・自転車・ワープロ部が東北大会に出場しました。

来年度は、中央高校二十周年の年です。同窓生の皆様には、ご支援の程宜しくお願いいたします。

懐かしい思い出

笹原 由香 先生



昨年、黎明同窓会のお誘いをいただきました。高校時代の面影を残したまま、立派に成長した教え子に会えて大変楽しい一時を過ごさせていただきました。

私は鶴岡西高校、鶴岡中央高校と通算十九年間、音楽担当として勤務しました。赴任当時、鶴岡西高校では音楽室が無く、授業は商業科の部屋を借り、部活動の吹奏楽は体育館脇の倉庫で行っていました。大学を卒業したばかりで、当時はそんなもんかと働いていましたが、今振り返れば、なんて劣悪な環境だったかと思えます。一転、鶴岡中央高校ではすばらしい芸術ホールで個室練習場も完備、しかし夏は暑くて...というのは今も同じでしょうか？

鶴西、鶴中央での思い出は沢山あるのですが、一つ挙げるとしたら、一九九六年、鶴西時代の沖繩への修学旅行です。当時の山川博史校長先生が県の教育委員会へ掛け合ってください、今では当たり前になった飛行機を使つての県内公立高校初の修学旅行。鶴岡から約二〇〇キロ、一月にもかわらず、那覇空港へ降り立った瞬間の熱気、頭上を飛び、高速道路を走る米軍車両。何万人もの戦没者の名前が彫られた平和の礎。生い茂るさとうきび畑（勝手に「抜くな」と怒つたっけなあ）など忘れられない光景。若い感性を持った生徒たちが大人になっても、沖繩や平和への思いがあればいいなと願っています。

今回の幹事年次の卒業から間をおかず担任をした年次もすぐ当番が回ってくるようです。次回もぜひ、沢山の懐かしい顔に会いたいなあと思っています。

「共に睦みて」の精神に触れて

田澤 妙子 先生



黎明同窓会総会・懇親会では、懐かしい顔や思わぬ顔にお会いでき、楽しい時間を過ごさせて頂き感謝申し上げます。

私が家政高校にお世話になったのは僅か三年でした。担任した学年の生徒が入学した年に着任し、卒業した年に転勤したという訳です。また、正担任は二年生からでしたので瞬く間に過ぎた三年でもありました。この頃に幻の緑色の制服(?)が全学年揃って着用した歴史的な期間があったと記憶しています。しかし、在職期間が短かったとはいえ、私にとっては、生徒や教職員との触れ合いを通して、教師として更なるやりがいや喜びを味わうことができた貴重な日々でありました。私が家政高校時代を振り返る時、脳裏に二つの事が浮かびます。一つは、生徒たちの輝くような明るい笑顔です。何でも楽しみ且つ一生懸命に取り組み姿は素敵でした。二十年を経た今でも、手元にある当時の写真を眺めてはその明るい笑顔を頂いています。二つ目は、校歌の一節にも歌われていた「共に睦みて」の精神です。家政科の授業で培われた、段取りを組む力・協調性・集中力・思いやりといったものが、学校生活の随所で逞しさや優しさ、あるいは団結力といった形で発揮されていました。そのような光景に触れた時、私は心が温まると共に感動を覚え、「睦み合う精神」は、家政科にとどまらない家政高校全体の伝統であると実感しました。

終わりに、今回お会いできなかった卒業生の皆様が、この精神を胸に今後とも心豊かに歩まれることを願っております。

総会に参加して

懐かしき高校時代



平成18年中央高卒 小林 亮啓

平成十八年度に鶴岡中央を卒業して早九年。月日が経つのは、あっという間でした。

この度、同窓会当番幹事を任せられ不安の中、役員、事務局の方々、幹事の皆様の協力の下、無事に終えることが出来ました。

総会、懇親会では、卒業後、地元に住んでいてもなかなか会えない先生方、友人達に会うことが出来、大変懐かしい気持ちになりました。高校時代の思い出や近況について話し、楽しい時間を過ごしました。

仕事や結婚、子育てと日々忙しい中、参加していただいた皆様には感謝して

おります。

参加できなかった同期生からもハガキに近況やメッセージがあり、その場の会場が盛り上がりました。これを機に連絡を取りたい、今後も繋がってほしいと感じました。

この様な場を設けて下さった関係者の皆様に感謝致します。

懐かしい



平成9年家政高卒 土田あゆみ

家政高校を卒業してあつという間に二十年が経ちました。月日は早いもので現在は仕事や育児で多忙ですが充実した日々を送っています。その中で同窓会に参加させて頂いたことで貴重な時間を過ごすことができ

二十年ぶりに



平成9年西高卒 黒井 里子

卒業から二十年、同窓会幹事のハガキを受け取り、「あれ？私幹事なんて引き受けてたのかな？」と二十年前の記憶を探ってみましたが、全く思い出せず、長い時間が過ぎたものだなあ、と思うばかりでした。

久しぶりにクラスメイトに連絡をしてみました。なかなか都合がつかない人が多く、出席者が少なかつたのは残念でしたが、皆の近況が聞けたら、先生とも連絡をとれたりと嬉しいこ



卒業生の思い出

毎日が思い出



平成 28 年
中央高卒
佐藤 稜太

また、昼休みにバスケットやバレエ、フットサルをして遊んだり、放課後に他愛のない会話を楽しんだり、何気ない日常が印象的です。毎日が楽しくあつという間の高校生活でした。

私は鶴岡中央高校に入學して、たくさんの思い出ができました。中でも私は、部活動と何気ない日常が印象的です。部活動では弓道部に入部し、個性の強い十九人の仲間と引退まで頑張ってきました。辛い事も乗り越え、夜遅くまで練習したり、多くの時間を弓道部と過ごしました。また弓道部は男女、年齢関係なく仲良しです。笑顔で溢れ、言いたい事はハッキリと言いたい事なので、私にとって弓道部は家族のような存在です。



高校時代の三年間はとても充実していて楽しい毎日だったと実感しています。何気なく過ぎた日常も家族や友達がいたから楽しく過ごせたのだと一人暮らしを始めて気づくことが出来ました。

感謝



平成 28 年
中央高卒
大館 洋音

中央高校での思い出といえば、部活、中央祭、球技大会、修学旅行とたくさんあります。そのどれもが文章を書いてみると懐かしく思い出されます。高校では学校に行く友達や先生がいて、授業をして、たくさん話して、バカなこと



くさんやって、思い出せばきりが無いほどの思い出があります。今は一人暮らしが始まったばかりでなれないことも多く、不安も寂しさもたくさんあります。疲れて帰ってきて家のことをするのも全て自分です。ですが、自分で決めた道だし、支えてくれる人、応援してくれる人のためにも感謝することを忘れず四年間頑張ろうと思います。慣れない環境に迷うこともありませんがこの経験が自分を成長させてくれると思います。

「笑」



昭和 62 年
家政高卒
和田真由美

私にも確かにあった青春時代。心弾ませた入學式から三年間は、いつも「笑」一言だった様に思われます。

大好きだった部活動。友や先輩方と夕食無しの合宿は新体操部ならではの思い出。「先輩!! 麦茶に砂糖入れて良いですか?」「ダメ!!。」こんな会話をした事を今となっては良い思い出です。家政高被服科、装飾デザインコースで学んだ事。忘れられないのは初めてデザイン画を書き、応募した作品で賞を頂いた事と、自分でデザイン↓型紙作成↓裁断↓縫製したスーツに袖を通した事。家政高でしか味わえない思い出です。

忘れられない日



昭和 41 年
西高卒
西方 信夫

入学した時、体育館はななく三年生になって出来上がりました。当時はタカアシダ(ゲタ)をカタカタと鳴らしながら学校に行きました。一番の思い出は昭和三十八年八時半頃私は加茂からバス通学していました。加茂坂の大山側で反対のバスが私のバスに衝突し、一番後高い所に乗っていたので後ろを見た。左側に傾き約五十M下に落ちていくではありませんか、加茂の小中高の先生や学生が多く乗っておりました。服はやぶれ体のあちこちから血を流し、痛い痛いと呼びながら、やつの思いでガケを登って来るのを一生懸命引き上げて手伝いました。道路に横になり苦しうにしている姿が目

大好きな大山



昭和 42 年
西高卒
田澤あき子

私達が入学した年は、大山高校から鶴岡西高に校名が変わった年でした。私は歩いて湯野浜温泉駅まで行き、電車でゆられながらの通学でした。その電車も

飛びかい、賑やかで……。おそらく先生方は色々な面で大変だったでしょう。自分達が親になり、我が子に母校を見せたいなあと思っても残されたのは体育館のみ。残念に思うのは私だけでは無いと思います。それでも高校時代に得た思い出や、友の笑、そして自分の心に焼きついた笑は、我が子に自慢できる大きな人生の財産です。

目標を持って



昭和 48 年
家政高卒
伊藤由美子

進学、就職、結婚、子育て、介護など、皆それぞれに時を重ね、卒業から早、四十四年も経ちました。

私たちのクラスは六、七年前から毎年クラス会をしています。会えば高校時代にタイムスリップし、部活の話、調理実習の思い出話合唱コンクールで「小さい

秋見つけた」を歌い、クラス皆がまとまった話など、賑やかな一時を過ごします。又、担任の吉川静子先生も毎回出席して下さい、九十五歳とはとても思えない軽い足取り、しっかりと話した会話に、本当に驚くと共にとても嬉しく思います。私が年賀状を差し上げると、先生は御自分で風景やくだものなどを綺麗に丁寧に描き、和歌を添えてお返事を下さいます。私たちは先生のお姿に元気を頂き、これからもいくつになっても、目標を持って年を重ねて行きたいと思っています。

中央高校生の御活躍と、黎明同窓会の益々の発展をお祈り申し上げます。



鶴岡中央高等学校は、普通科と総合学科の二つに分かれています。普通科では大学進学を中心に勉学に励んでいます。普通科ではキャリア探求という時間があり、大学や職業について調べる時間があり、進路への知識を深めています。総合学科では専門的な学習をして、進路実現に向けてがんばっています。総合学科では年に一回学習してきたことを発表する会があり、知識を深めています。今年の生徒会スローガンは「躍進」です。これには社会に出てから活躍できるようにという意味が込められています。生徒会ではあいさつとボランティアに重点を置き、元気なあいさつを心がけています。ボランティアではペットボトルキャップ回収を行い、その収益でワクチンや車イスに交換し寄付することを考えています。よりよい中央高校を目指し、がんばっていきます。



鶴岡中央高等学校 生徒会長
金野 蓮

学校PR



鶴中央高きつねめん
庄内日報 平成28年9月11日掲載

シルクガールズ
庄内日報 平成28年11月25日掲載

介護予防体操
庄内日報 平成28年11月16日掲載

鶴中央高が山王商店街ののぼり旗製作
庄内日報 平成28年9月15日掲載

広報つるおか
庄内日報 平成28年12月23日掲載

鶴中央高の美術デザイン系列展
庄内日報 平成28年12月23日掲載

平成28年度 一般会計決算書

自平成28年6月1日
至平成29年5月31日

【収入の部】 (単位 円)

項目	予算額	収入済額	増減(△)	備考
1 入会金	1,375,000	1,375,000	0	平成28年3月卒業 275名×5千円
2 年会費	655,000	626,000	△ 29,000	平成28年3月卒業 27.5万円 平成28年度 35.1万円
3 寄附金	100,000	174,100	74,100	
4 繰越金	306,480	306,480	0	前年度繰越金
5 雑収入	520	20	△ 500	利息
合計	2,437,000	2,481,600	44,600	

【支出の部】 (単位 円)

項目	予算額	支出済額	増減(△)	備考
1 運営費	1,226,000	952,932	△273,068	
(1) 事務費	266,000	234,323	△ 31,677	会報用名簿宛名の出力・封筒・振込用紙代 20万円 同窓会用封筒 2万円 総会用宛名ラベル等 1万円
(2) 事務委託費	390,000	371,580	△ 18,420	団費職員賃金
(3) 備品費	5,000	0	△ 5,000	
(4) 通信費	130,000	121,941	△ 8,059	ハガキ・切手代
(5) 会議費	270,000	61,418	△208,582	総会 2万円 各種役員会等 4万円 関東支部出席 2.3万円*3名 3.3万円*2名 学校2名 同窓会3名 交通費(鶴岡~東京都内)2.3万円*5名 参加費1万円*2名
(6) 旅費	135,000	135,000	0	入会式生花 1.5万円 ゆうちょ銀行払込料金等 1.3万円
(7) 雑費	30,000	28,670	△ 1,330	
2 事業費	1,176,000	1,097,541	△ 78,459	
(1) 会報発行費	891,000	853,091	△ 37,909	印刷費 32.4万円 会報配送料 43.9万円 会報封入・封緘等 9万円
(2) 卒業記念品費	120,000	117,450	△ 2,550	卒業記念品(証書ホルダー) ※平成29年3月卒業生
(3) 後援会賛助金	100,000	100,000	0	
(4) 同期会開催祝金	30,000	0	△ 30,000	
(5) 慶弔費	5,000	0	△ 5,000	慶弔電報等
(6) 広報費	30,000	27,000	△ 3,000	総会案内広告費
3 基金積立金	0	0	0	
4 雑費	25,000	21,320	△ 3,680	関東支部開催祝金等 1.5万円 卒業生を祝う会費 5千5百円
5 予備費	10,000	0	△ 10,000	
合計	2,437,000	2,071,793	△365,207	

収入 2,481,600円 - 支出 2,071,793円 = 差引き残金 409,807円を次年度へ繰越

平成28年度 各特別会計決算書

自平成28年6月1日
至平成29年5月31日

1 基金積立金特別会計決算書 (単位 円)

項目	予算額	収入済額	増減(△)	備考
1 繰越金	1,486,472	1,486,472	0	積立金残金
2 積立金	0	0	0	
3 雑収入	528	19	△ 509	預金利息等
合計	1,487,000	1,486,491	△ 509	

【支出の部】 (単位 円)

項目	予算額	支出済額	増減(△)	備考
合計	0	0	0	

収入 1,486,491円 - 支出 0円 = 差引残金 1,486,491円 次年度へ繰越記録
※平成20年度 10周年記念事業協賛金 100万円の内 786,000円支出
※平成27年度 創立20周年記念事業準備事務費 145,800円支出

2 環境緑化・施設整備協力金特別会計決算書

【収入の部】 (単位 円)

項目	予算額	収入済額	増減(△)	備考
1 繰越金	2,333,228	2,333,228	0	協力金残金
2 協力金	262,000	261,000	△ 1,000	平成29年3月の卒業生 261名×1,000円
3 寄附金	0	0	0	篤志家等寄附金
4 雑収入	772	29	△ 743	預金利息
合計	2,596,000	2,594,257	△ 1,743	

【支出の部】 (単位 円)

項目	予算額	支出済額	増減(△)	備考
合計	0	0	0	

収入 2,594,257円 - 支出 0円 = 差引残金 2,594,257円 次年度へ繰越
※協力金は平成18年3月卒業生より一人千円加入していただいております。

記録 ※平成20年度 サッカーグラウンド整備に100万円支出
※平成22年度 学校へ絵画贈呈時の運搬費等に124,884円支出

関東支部長のあいさつ



関東支部長 齊藤 仁幸

平成一〇年四月一日に県立鶴岡中央高等学校が設立され、同年九月五日に開校式典が挙行されました。これを機に首都圏で運営していた家政校、西校各々の同窓会も一緒になる運びとなったのです。「黎明同窓会・関東支部」として開催した総会、交流会は、昨年が一〇回目になりました。

本校同窓会始め庄内地域の友好同窓会からの助言、支援を頂きながら、運営を継続しております。昨今、卒業生及び会員の皆様の同窓会に対する認識も多様化しているようです。年々、会員数、出席者が減少傾向にあります。出席された会員の皆様や役員幹事の懸命な働きかけもあり、若い卒業生の出席がありました。引き続き参加者増加への努力を怠ってはいけません。

平成二十九年度の黎明同窓会・関東支部「同窓生のつどい」は九月一〇日(日曜日)日暮里のホテルラングウッド「孔雀の間」にて開催されます。学生の方、初参加の方大歓迎です。毎年参加頂いている同窓会の皆様にもお会いできるのを幹事役員一同楽しみにしております。幅広い年齢構成ですが、年代を越えて欲談していただければ幸いです。また、故郷の懐かしい味も用意しております。是非、御利用をお願い申し上げます。例えば、待つてさげの。



お知らせ

中央高卒の皆さんへ
同窓会は、同級生、同期生を横系に、先輩、後輩を縦系として紡がれ、世代を越え、同じ学舎で学び過ごした同志が集う場であります。同窓会の活動や運営は、会員の年会費で賄われますが、残念ながら新会員の入会金と年会費に大きく依存しているのが実態であります。平成三十年には中央高校が誕生して二十年の記念すべき年を迎えます。これからの同窓会活動や運営の中心は中央高校卒業生の皆さんです。同窓会は親睦だけでなく、現役世代を支援する役割も担っております。頑張っている後輩がより一層頑張れるよう、会員としての自覚を持ち、活動や運営に積極的に参画して欲しいと願っております。同窓会活動や運営の原資となる年会費の納入と総会への積極的な参加をお願いします。